

## 足田教諭分限免職取消訴訟ニュー・ス No.4 2007/09/30

支援の動き 集会での報告予定 「陳述書・支援メッセ・ジ」から 第2弾

### 支援の動き

先日、支援者の方がこの裁判の情報を伝えるチラシをつくり、9月23日に、「**子どもはお国のためにあるんじゃない!**」市民連絡会<旧教育基本法『改正』反対市民連絡会>の**スタート集会**で、150枚を印刷して配布して下さいました。チラシの配布のお手伝いも募って下さり、私、荒井の方でもそのご示唆を受けて支援者のみなさまにお手伝いのお願いをしましたところ、お一人がいらして下さい、お二人で参加者に配布して下さいました。

弁護団のメンバ - は誰も行くことができなかったのも、とても助かりました。

またチラシ配布を手伝ってくださった方は、この日の残ったチラシをさらに「**9・27 沖縄県民大会プレ集会@首都圏 - 大江・岩波沖縄戦裁判と教科書検定 -**」という集会で配布して下さったそうで「繋がった細い糸を、更に繋げていってもらう、そんな感じです」「また少し、繋がりができたことと思います」と示唆深いメッセ・ジをいただきました。

このチラシ、とても分かりやすいレイアウトになっているので、お許しを得て、早速、ホ - ムペ - ジにアップさせていただきました。今度の公判前まで使える内容で、A4版1枚に収まります。他の皆様でも、何かの集会にご参加されるとき、この裁判の情報を伝える資料として活用していただければ幸いです。このチラシ、裁判ニュー・ス他、ホ - ムペ - ジにアップしたものはどれも、ダウンロードして活用して下さって構いません。

印刷代などお支払いできませんので、どうか、それぞれの方のできる範囲で、配布していただければ幸いです。また、メ - ル等での転送もどんどんして下さって構いません。

どうぞよろしく申し上げます。

### 研究会での報告 足田教諭が、9月29日(土曜)、日本科学者会議「夏の学校」2007

で、被処分者の会の方とともに、この裁判について報告しました。(弁護団の一人で、人事委員会の審理では代理人の一人を務めた荒井文昭氏の、東京都における教育行政の実態についての報告とともに、報告しました。

日本科学者会議「夏の学校」とは、日本科学者会議に集まる大学院生・若手研究者の方々による学習会だそうです。

なお、12月1日と2日には、別途、**日本科学者会議東京支部主催による第14回東京科学シンポジウムが一橋大学**を会場として開催され、12月1日土曜日午後に開かれる分科会「**教育基本法改定後の教育 - 東京都における教育専門性をめぐる現状と課題**」でも、足田教諭が報告する予定です。

支援者のみなさまが関係している集会で、この裁判について報告できる機会がありましたら、是非、ご一報ください。弁護団メンバ - が多忙で、実際にはなかなか日程調整がむずかしいのですが、もし調整がつく場合には、報告・説明にうかがわせていただきます。

### 「陳述書・支援メッセ・ジ」から 第2弾(2007/09/30)

掲載確認のとれた支援メッセ・ジの一部をご紹介します。

「実は、でも、変な校長が権力を振りかざし、情熱ある若い先生が心を痛めているという事実があります。今、私に出来るところで動いています。実際に、人として許せない言動を繰り返す校長にも出会い、足田先生の痛みがひとごととは思えませんでした。

様々な意見があると思いますが、どうぞ、負けないでください。

何もできませんが、応援したいと思う人間がいるということのを疋田先生にぜひお伝えしてほしいと思いました。こんなことを言うと、この私も、考えが足りないと言われるのかもしれないかもしれませんが、同じ辛い思いをしながらも、変な校長と戦っている若い情熱ある先生もいます。理不尽なことにも、どうか負けないでください。」

～初公判の傍聴呼びかけ・人事委員会請求人陳述書の紹介を読んで～（北海道・母親）

「いつもだとうこうした問題には関心はあっても、何かを自分からするということになると傍観者になることが多い私です。しかし、のMLに流れた荒井容子さんのメールを読むととても怖いことが起きているような気持ちになり、無視できないという強い気もちが少しずつですが私のなかにわいてきました。

送っていただいた資料の申請人の陳述に少し目を通しました。やっぱり怖いことが起きているという気持ちと同時に人間ってこんなこともするのかと悲しい気持ち。むなしい気持ちにもなっていました。何かおかしいことが起きていると強く感じます。」

～初公判の傍聴呼びかけ・人事委員会請求人陳述書を読んで～（大学教員・研究者）

「裁判の報告書読ませていただきました。とても重大な状況がよくわかりました。

学校という次世代を育む、人間性の問われる教育現場の、いじめやパワーハラスメントがまかり通る密室性・に理不尽さに驚いています。私も含めて大半の人には知る良しもないことでした。信頼と意欲・経験のある先生を排除するような方向は、学力低下はもとより、社会が荒廃していくばかりだと思えます。

どうかよい方向に向けて頑張ってくださいたく、僭越ながら応援しております。」

（疋田教諭の中学時代の同級生）

この他、他の裁判を支援されている方で、マスコミにもっと取り上げてもらうよう働きかけるべきだというご意見もメールでいただいています。

## 編集後記

先日、この裁判のホムペジをプロバイダのサイトに公開登録しました。検索エンジンで探しても見つからないのご指摘を受け、公開登録がまだだったことに気がついたからです。そこで試しに「分限免職 教員」という項目でGoogleで検索してみたところ、このホムペジはヒット数も少ないせいか、登場しませんでした。しかし、気分が悪くなるようなブログを発見しました。3人の都議を前面に出しての特定中学校教員を徹底攻撃し、分限免職に追いやったと豪語して書いています。また七生養護学校問題も姉妹編としてターゲットにしているようです。

今回の事件で流された「体罰」教員報道の関連資料をもうすぐアップしたいと思います。

マスコミに反省と、誠意をもった取材・正確な報道を期待したいと思います。

先日のNHK特報首都圏の番組は、親の要求の過激化とそれに対応できずに精神的に参っていく教師たちの増加を伝え、親も過激だが、教師も弱いとするそんな構図になっているように見えました。そこにほんの少しだけ、教師の加重労働、管理職の無責任さがつけ加えられていました。各地で起こっている教員統制は人権侵害の状態にまでなっているのに、それを肯定してしまう世相があるために、報道でもはっきりものを言えなくなっているのでしょうか。それともまだ事態の深刻さが伝わっていないのか……。

荒井容子

疋田哲也教諭分限免職取消訴訟eメール [yfe12833@nifty.com](mailto:yfe12833@nifty.com)

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/bungenmenschoku/index.html>